

聴覚障害者、自転車で日本縦断し映画に いまむら あやこ 今村 彩子さん(37)

自分を映画の主演にしたのは初めて。耳が聞こえない中で、どう他人と付き合うか、模索しながら自転車で日本を縦断した57日間を記録した。

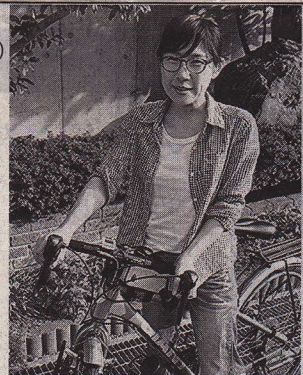
「コミュニケーションが苦手だったり、自分に自信が持てなかったりする人に、また頑張ろうと思ってもらえたら」

生まれつき両耳が聞こえない。映画監督を志して米国の大学で学び、ろう者や難聴者をテーマにドキュメンタリーを撮ってきた。旅のきっかけは母の死。ショックで死にた

いとさえ思った。好きな自転車で旅し、心のどこかで避けてきた健聴者とのコミュニケーションを見直せば再び前向きになれるかも。それを作品にしよう。題名は「Start Line」。

同行者は、自転車店で働く友人の堀田哲生さん(41)。健聴者との会話に気後れする今村さんに「耳が聞こえないことに甘えている」と叱咤し続けた。時にぶつかり涙を流したが、それでも懸命にペダルをこぎ続けた。

この人



編集作業でも、ふがいない自分の姿を残した。「『できなかった』というのが旅の本質だったから。でも、スタートは何度でも切れると分かった」と話す。(鈴木沙巴良)

2016.10.17